

EEM370 比較教育学

3年 3,4クォーター

担当教員 隼瀬 悠里

授業形態 演習

アクティブ・ラーニング アクティブ・ラーニング科目

単位数 2

曜日・時限 集中

授業概要

国際比較教育の学際的、相互関連分野への入門科目である。個々の文化や社会では、その地に根ざす信念や価値観に基づいた多様で、時には矛盾した教育システムを確立させている。しかし、グローバル化によって、世界中の教育実践と教育政策は「グローバル基準」を満たそうとますます一局に集中するようになった。この授業の目的はグローバルな教育課題に対する国や地域別における対応を考察すると同時に、国や地域における独自の教育課題についても考察することである。教育課題への対応はそれが根ざす文化的・社会的な背景が大きく関わってくる。授業へのアプローチとしては、国を超えて共通する教育課題を切り口として、国や地域における固有性と共通性のそれぞれを比較考察することによって、グローバルな視座をもって教育に取り組む力を育成することを目的とする。

到達目標

重要な教育課題について、世界各国・地域の動向や問題、解決に向けた方策について理解し、比較できるようにする。

先修科目

特になし

教科書・参考資料等

教科書
適宜提示
参考書
適宜提示

授業の方法

演習形式で授業を進める。受講者による発表やディスカッションを課すため、授業には積極的な参加が求められる。授業者は適宜解説や補足説明を行う。

成績評価

授業への参加態度および発表やディスカッションでの様子、レポートなど、総合的に評価する。

成績

60%ディスカッション、40%プレゼンテーションまたはレポート

授業スケジュール(仮)

第1回：オリエンテーション

講義予定、講義内容、授業の進め方の説明

第2回：世界の教育制度

世界の教育制度の違いについての理解を深める。

第3回：学力問題の国際比較

IEA や PISA などの国際学力調査の特徴や各国の状況についての理解を深める。

第4回：大学入試の国際比較

入試制度や入学制度の弾力化について国際比較を通じて考える。

第5回：世界の教員養成制度

世界の教員養成制度の比較を通じて、教員養成制度の在り方について考える。

第6回：就学前教育の国際比較

就学前教育における課題について、国際比較を通じて理解を深める。

第7回：世界のオルタナティブ教育

世界のオルタナティブ教育を通して、教育の多様性についての理解を深める。

第8回：いじめ問題の国際比較

世界におけるいじめ問題の特徴や対応を通して、日本のいじめ問題を考える。

第9回：外国人学校

日本における外国人学校の状況を通して、教育を受ける権利について考える。

第10回：多文化教育

各国における移民児童への対応を通じて、多文化共存について考える。

第11回：留学

日本や諸外国の留学生政策をもとに、教育の国際化について考える。

第12回：国際教育開発

国際教育開発をめぐる課題や世界的潮流についての理解を深める。

第13回：ジェンダー

教育におけるジェンダー問題を通じて教育の男女平等について考える。

第14回：生涯学習の国際比較

各国における生涯学習の状況を通じて、生涯学習の在り方を考える。

第15回：全体のまとめ

授業全体を振り返る。

事前・事後学習

- ① 授業参加の前に関連する事項について理解を深めてくること（予習）。
- ② 授業を振り返り、理解を深めること（復習）。